

未稼働資産約100億円分、水道用水供給料金に転嫁方針!

奥州金ヶ崎行政事務組合 今年度中に正式決定か!?

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



日本共産党奥州市議団は、24日、奥州市役所江刺総合支所会議室で、9月定例会中に示されていた水道事業見直し案について、改めて奥州金ヶ崎行政事務組合並びに奥州市水道部の担当者から聞き取りを行いました。その概要と問題点について紹介をします。

奥州金ヶ崎行政事務組合(以下「組合」と記す)は、胆沢ダムから水道用水にする水を取水し、浄化して、奥州市・金ヶ崎町に水道用水として供給しています。奥州市水道部は組合からの水を配水池に受水し水道水として各家庭・事業所まで供給します。

100億円分の未稼働資産!?

平成2年、胆沢ダムから取水し奥州金ヶ崎地域に水道用水を供給する事業計画が約300億円の総事業費で始まりました。

当時の日本共産党水沢市議団は、計画が過大だとして見直しを求めましたが、見直しはされませんでした。

しかし、ダムの完成が10年遅れました。そのため水道用水を確保できない合併前の各市町村は、独自の水源に別途費用をかけ確保しました。

奥州金ヶ崎行政事務組合は、計画が過大なうえ、ダム工事の遅れで、市町村に計画通り水道用水を供給できなくなりまし

た。また、水道用水の単価が非常に高くなることから導水管など十分機能しない施設の経費を反映させることができませんでした。

そこで、現在まで実質機能していない施設分の経費を「未稼働資産」として別建てにし、用水供給単価に反映させていません。

この「未稼働資産」は約100億円とされています。

未稼働資産全額を水道用水供給原価に振り替え、3期工事を進める方針

組合は、奥州市と金ヶ崎町から今後必要な水道用水量が確定したこと、公認会計士から「未稼働資産」は過大でも使用されていて、消耗していない(価値



桜屋敷貯水池

奥州市の必要水量
25,180 m³/日

奥州市水道部は現在組合から、一日当たり14,600 m³

が減じていない)ことから水道用水供給単価に反映することが望ましいとの意見を得たこと、現在の料金で、当面資金不足も発生しないことから未稼働資産を用水供給単価に反映させたいと説明しました。

そして、予定されていたうち4期工事は中止とし、3期工事(約90億円規模を想定)は進めるとしています。

受益者への負担転嫁はすべきでない

日本共産党市議団は、明らかに過大な当初計画を決定した首長や議会に責任があるとして、過大とされる分は水道用水供給単価に反映させるべきでなく、今後の工事は最小限にとどめるべきだと一貫して主張してきました。



紙とも子
日本共産党
参議院議員

農民連のみなさんの要請
「畜産経営を
継続するための緊急要望書」

農民運動全国連合会長谷川敏郎会長、藤原麻子事務局長、上原正農民運動群馬県連合副会長群馬県養豚協会副会長、山崎義貞農民運動千葉県農民連役員、養豚農家、満川曉代新聞「農民」編集部副編集長がそろって「畜産経営を継続するための緊急要望書」を野村哲郎農林水産大臣に届け、このままでは畜産経営は続けられないと窮状を訴え、

10月21日

対策を求めました。田村貴昭衆議院議員と私が同席しました。



Facebook より

を受水しているが、25,180 m³に増やし、現在ある市の独自水源(22カ所の独自水源を10カ所に減らす)を閉鎖し経費を節減したいと説明しました。

これにより約78億円節減でき、令和25年度の水道料金を20 m³で43・30%の引き上げに留めることができるとしています。(左参照)

現行(令和3年)

20 m³で、4,015円

令和25年

20 m³で、6,072円

災害時の代替水源は
金ヶ崎町と岩手中部水道企業団?

災害等の緊急時の水源としては、金ヶ崎町・岩手中部水道企業団からの応援を想定したいとし、上島水源(北上川から取水)は、水害地域で、

独自水源の確保が必要でないか?

日本共産党市議団は、災害時の代替水源の確保が必要だと主張してきました。しかし、独自の水源を確保する計画にはなっていない。また、広報だけでなく、住民説明を充分に行うことが必要ではないでしょうか?

施設の耐震性が弱く、耐震化改修など45億円が見込まれることから、組合からの水を供給できる地域の水源は閉鎖する(胆沢の八子沢水源を除く)計画です。

災害時は、金ヶ崎町から支援を受けた実績があり、2300 m³/日の支援を受けられる見通しであると述べています。また、将来は岩手中部水道企業団から支援を受けたいとしています。